

映画

●最高の恐怖と極限の絶望で全米騒然の『GODZILLA ゴジラ』がいよいよ日本上陸

あのゴジラが誕生したのは1954年。つまり今年は60年という節目。そんな中、ハリウッド仕込みの『GODZILLA』がまたしても復活、世界を恐怖のどん底に陥れている。

もちろん映画の話。シリーズ最新となる『GODZILLA ゴジラ』が、最高の恐怖と極限の絶望を引っ掛け、7月25日から日本全国でロードショーを開始。

5月16日より世界各国で公開された本作は、北米での公開3日間集計で約95億円、全世界での興行収入は約200億円に達するという記録的大ヒットを達成（5月25日現在）。

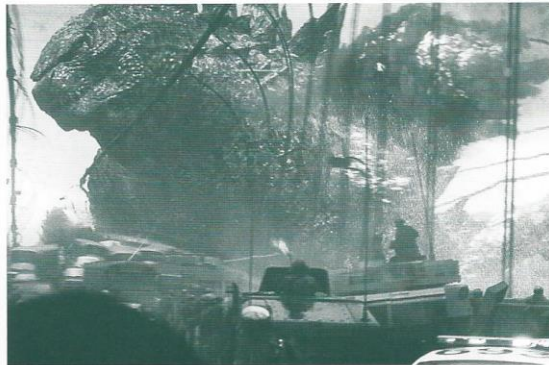
今回のテーマは「リアル」。今、我々の人智をはるかに超えるゴジラが現れたら、さらにゴジラにどう向き合うのか？ 対抗する手段はあるのか？ 我々は何を感じ、何をなすのか？

とてつもなく大きな脅威に直面した時に、人間が見せる勇気と、互いの違いを乗り越えて団結していく姿をパワフルなストーリーの中で描いていく。

またシリーズ初の3Dにも挑み、圧倒的に大きく強く怖いNEWゴジラを表現。まさに襲われればかなりのらみ、重厚感ある動きは圧巻。

ゴジラに果敢に挑むアメリカ車のM1A1戦車も見所だ。

- 7月25日より全国公開
- 主演：アーロン・テイラー＝ジョンソン、渡辺謙 他
- 監督：ギャレス・エドワーズ



(c) 2014 WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC. & LEGENDARY PICTURES PRODUCTIONS LLC (TM) & (c) TOHO CO., LTD.

新製品

●自動車メーカーも採用する国際特許のビニールマネキンに自衛隊も触手！？

「AIRQUIN(エアキン)」とは耳慣れない言葉だが、国際特許を持つ、この空気ビニールマネキンに、「自衛隊も関心を寄せている」との情報を得た。

エアキンは、  
●これまでのビニール製人形では再現が困難だった、微妙な人間の手を見事に再現できる

●空気で膨らませるビニール製であるため、軽量化、ポータブル化、

収納の面で優れる

●天井からの吊下げなど新たなディスプレイ方法が可能

といったアドバンテージが期待できる優れモノ。日本ではベンチャー企業のマインドクリエイトジャパンが展開する。

すでにスポーツ用品メーカーがグループスポーツウェアのディスプレイ用に採用した他、大手自動車メーカーも衝撃実験などに応用している。

こうした動きを受けてか、陸上自衛隊も関心を抱いているようで、すでに制服を着たエアキンが、



各種イベントでの自衛隊ブースにお目見え、人気を博している。コストパフォーマンスに優れた同商品、環境にも優しいだけに、今後多方面での活躍が期待される。(問い合わせ) マインドクリエイトジャパン：TEL03-6276-2293

